

国際電話番号による 特殊詐欺が急増中!!

国際電話がかかって来るケースの中には、一瞬電話が鳴ってすぐに切れてしまい、うっかりかけ直すと多額の通話料を請求される、という「国際ワン切り詐欺」があります。電話をかけ直すつもりがなくとも、端末の誤作動や、間違って指が触れてかけ直してしまったなどのケースも発生しており、可能なら着信履歴から削除するのがおすすめです。

+1 や +44などから始まる番号、たとえば



+ 1312345678
+ 44698765432



このような表示の電話には出ない、
かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、発信・着信を
無償で休止できます
今すぐお申し込みを↓↓

固定電話・ひかり電話が対象です。そのほかにも一定の条件がありますので、詳しくは申込みの際ご確認ください

お申し込み・お問い合わせはこちらから

国際電話不取扱受付センター

電話番号 0120-210-364 (通話料無料)

取扱時間 オペレータ案内：平日午前9時から
午後5時まで

自動音声案内：平日、土日祝24時間



「火の用心」の声掛けについて



住宅火災で亡くなられた方の約8割が高齢者



令和4年中の住宅火災による死者の約8割が高齢者で、ほとんどが逃げ遅れによるものです。特にひとり暮らしの高齢者は、火災に気付きづらい可能性があるため、火災を起こさない習慣・環境づくりが大切です。

令和4年中の住宅火災死者（札幌市）

高齢者世帯で多い火災は こんろ火災

「こんろ火災」の約半数は、火の消し忘れ・消さずにその場を離れたことで起きています。

【こんろ火災を防ぐワンポイント】

離れるときは火を消す

こんろ周りは整理整頓

こんろ、グリルはこまめに清掃

これから季節は ストーブ火災に要注意

11月頃から「ストーブ火災」が急増します。

【ストーブ火災を防ぐワンポイント】

周囲に燃えやすい物を置かない

上に洗濯物を干さない

外出する時・寝る時は火を消す

高齢者世帯では、こんろ、ストーブからの出火が全体の約3割です!!

札幌市では、これらの火災を早期に感知し、自動で消火する自動消火装置の購入・設置費を最大 28,700 円助成する事業を実施。詳しくは消防署までお問合せください。

ストーブやボイラーの給排気筒が雪に埋もれると、使用の際「排気ガス」が室内に流入したり、「不完全燃焼」を起こす原因となり、死亡事故につながる危険性があります。定期的に確認してください。



高齢者に多い「転倒」「転落」事故に注意しましょう！

昨年、札幌市では、家の中での転倒や転落事故で5,732名の高齢者が救急搬送されました。転倒や転落事故は、その多くが少しの注意で防ぐことができます。事故の原因を知り、事前の対策を心掛けましょう。

段差や玄関、廊下などでの



転倒

- ・段差に気を付け、床に電気コードを引いたりチラシなどを置かない。
- ・階段や玄関の床に滑り止めを設置。

階段やベッド、脚立、椅子から

転落



- ・階段やベッドに手すりや柵を設置。
- ・脚立や椅子に上がるときは、家族など補助者に支えてもらう。